



支部だより

第70号

編集・発行

日本気象学会中部支部

〒464-0039

名古屋市千種区日和町 2-18

名古屋地方気象台内

電話 052-751-5124

2010.05.20

目次

- ・ 2010 年度（平成 22 年度）の始まりにあたって
- ・ 2010 年度（平成 22 年度）中部支部総会のお知らせ
- ・ 議案(1)：2009 年度（平成 21 年度）中部支部事業報告
- ・ 議案(2)：2009 年度（平成 21 年度）中部支部会計報告
- ・ 議案(3)：2009 年度（平成 21 年度）中部支部会計監査報告
- ・ 議案(4)：2010 年度（平成 22 年度）中部支部事業計画案
- ・ 議案(5)：2010 年度（平成 22 年度）中部支部予算案
- ・ 中部支部第 18 期役員の補充
- ・ 中部支部第 19 期役員選挙のお知らせ
- ・ 第 16 回公開気象講座のお知らせ
- ・ 平成 22 年度支部研究会のお知らせ

◆ 2010 年度（平成 22 年度）の始まりにあたって

日本気象学会中部支部長 高瀬 邦夫

2010（平成 22）年 5 月 11 日に開催された本年度第一回の日本気象学会中部支部理事会において、人事異動に伴う役員の補充に関する提案が承認され、支部長を仰せつかりました。皆様からご支援ご協力をいただきながら、中部支部の発展のために微力ではありますが最善を尽くしたいと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。

気象学・大気科学の発展は、遠近を問わず将来の気象状態が知りたいという知的欲求と、それによる社会貢献との両輪が原動力だと考えています。そして、気象学会には、そのエネルギーを有した、研究機関の方、教育機関の方、気象事業に従事する方、解説・普及に従事する方、気象に興味を持たれている方、および防災などを担当する行政機関の方など、様々な分野の方々が会員となっております。このような幅広い会員構成は気象学会の大きな特徴ではないかと思えます。

研究課題の高度化に伴い、研究分野は細分化されて、相互の研究内容の理解は、容易でなくなってきました。また、社会からも理解されにくくなっています。しかし、会員が幅広い分野にまたがっていること、そして、気象学の社会貢献というもう一つの切り口によって、研究が開かれたもの、理解されやすいものにとできると思えます。もちろん、この様な良い方向への展開は、理事会など組織のトップダウンでなされるものでなく、会員諸氏にかかっているものでしょう。

ここで、気象学会の支部活動を考えて見ますと、かつては、学会員のかなりの部分を気象台関係者

が占めていたことから、地域的な気象現象の研究・情報共有の場の役割が大きかったものと推察します。昨今は、大学・研究機関の会員の割合が大きくなり、気候、環境問題など地域の気象に留まらない研究テーマの会員も増えています。しかし、研究対象がグローバルな、タイムスケールの長い現象、また、ミクロな素過程であっても、最終的には個々の地域の気象現象となって現れます。したがって、研究の多くは、地域との関わりを持っていますし、地域との関わりを通じて社会への貢献があると思います。また、昨年の伊勢湾台風 50 年企画や本年各機関で計画されている東海豪雨 10 年企画など、防災の観点では地域性は依然として重要です。

このように考えますと、気象学会の支部研究会活動の役割は低下するものではなく、分野を広げ益々大きくなるのではないのでしょうか。今後とも、地域の特徴を生かした研究はもとより、幅広い分野の研究が連携・進展し、会員相互により役立つ存在となることを期待しております。

◆ 2010 年度（平成 22 年度）中部支部総会のお知らせ

1. 日時 2010 年（平成 22 年）7 月 23 日（金）16 時 00 分から

2. 場所 名古屋地方気象台 会議室

3. 総会次第

1) 開会の辞

2) 支部長挨拶

3) 議長選出

4) 委任状及び出席者報告

5) 議案

(1) 2009 年度（平成 21 年度）中部支部事業報告

(2) 2009 年度（平成 21 年度）中部支部会計報告

(3) 2009 年度（平成 21 年度）中部支部会計監査報告

(4) 2010 年度（平成 22 年度）中部支部事業計画案

(5) 2010 年度（平成 22 年度）中部支部予算案

議案の番号は総会参加票に示された番号です。

議案の詳細は以下に示します。

◆ 議案

議案 (1) 2009 年度（平成 21 年度）中部支部事業報告

5 月 12 日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部常任理事会を開催いたしました。

6 月 12 日 支部だより第 68 号を発行しました。牧原支部長の挨拶、総会のお知らせ、議案、第 18 期役員の新補充、第 15 回公開気象講座の開催予定、平成 21 年度支部研究会開催のお知らせなどを掲載いたしました。

7 月 24 日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部理事会と中部支部総会を開催いたしました。

8 月 25 日 名古屋大学野依記念学術交流館にて、第 15 回公開気象講座を開催いたしました。テーマは「台風研究の最前線」で、講師に山田広幸氏（海洋研究開発機構）、篠田太郎氏（地球水循環研究センター、同センターの坪木和久氏の代講）と萬

納寺信崇氏（気象庁）を迎えて、最新の台風研究に関するわかりやすい講演を行っていただきました。会場には60名を越える参加者がありました。

11月19日 支部だより第69号を発行しました。2009年度支部総会の報告、第15回公開気象講座の報告、平成19年度気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラムなどを掲載しました。

12月8～9日 三重県津市の三重大学において、平成21年度気象学会中部支部研究会を開催しました。2日間にわたって27件の講演が行われました。

その他 日本気象学会2011年度秋季大会(名古屋)の開催会場の検討を行いました。

議案(2) 2009年度(平成21年度)中部支部会計報告 21年度収支計算書

(2009年4月1日～2010年3月31日)

単位：円

	予算額	決算額	差異	備考
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	746,000	746,000	0	注1
本部から赤字補填	0	91,965	△91,965	
公開気象講座補助金	100,000	100,000	0	注2
事業収入				
公開気象講座参加費 (テキスト代含む)	50,000	47,600	2,400	
雑収入			0	
預金利子	400	378	22	
その他	0	0	0	
事業活動収入計(1)	896,400	985,943	△89,543	
II 支出の部				
事業活動支出 (事業費支出)				
支部だより	110,000	95,296	14,704	
支部だより印刷費	60,000	33,075	26,925	
支部だより編集費	0	0	0	
支部だより発送費	50,000	62,221	△12,221	
ホームページ運営費	60,000	51,660	8,340	
サーバー借料	60,000	51,660	8,340	
ホームページ作成費	0	0	0	
公開講座開催費	100,000	212,851	△112,851	
公開講座会場費	0	0	0	
公開講座運営費	0	144,531	△144,531	
公開講座講師謝金・旅費	0	68,320	△68,320	

支部研究会開催費	450,000	545,823	△95,823	
支部研究会会場費	0	25,077	△25,077	
支部研究会運営費	50,000	122,778	△72,778	
支部研究会講演予稿集印刷費	200,000	210,000	△10,000	
支部研究会参加旅費	200,000	187,968	12,032	
その他事業費	0	0	0	
(管理費支出)				
総会・理事会費	43,000	39,773	3,227	
総会資料印刷費	0	11,433	△11,433	
理事会開催費	3,000	2,000	1,000	
理事会交通費	40,000	26,340	13,660	
役員選挙費	0	0	0	
選挙公報・投票用紙印刷費	0	0	0	
選挙管理委員会費	0	0	0	
事務費	50,000	40,540	9,460	
通信運搬費	40,000	36,000	4,000	
消耗品費	10,000	4,540	5,460	
労務費	0	0	0	
その他支出	0	0	0	
事業活動支出計(2)	813,000	985,943	△172,943	予備費と本部からの赤字補填により補填
III 予備費				公開講座開催費に繰り入れ
公開講座費支出	83,400	0	83,400	
予備費支出計(3)	83,400	0	83,400	
当期収支差額(A) = (1)-(2)-(3)	0	0	0	
前期繰越収支差額(B)	0	0	0	
次期繰越収支差額(A)+(B)	0	0	0	

注1：本部からの支部活動費としての交付金

会員数割@1,200×330=396,000円と均等割350,000円の和で計上(予算計上は330名)

注2：本部からの夏期公開気象講座としての補助金

2009年度支部強化基金 収支計算書

(2009年4月1日～2010年3月31日)

単位：円

	予算額	決算額	差異
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	55000	30850	24150
事業活動収入計(1)	55000	30850	24150
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
長野気象講演会補助 (交通費、宿泊、振り込み料)	55000	30850	24150
支部活動基金の残額を本部に返金 (含む手数料 630 円)		24150	△24150
事業活動支出計(2)	55000	55000	0
III 予備費支出	0	0	0
予備費支出計(3)	0	0	0
当期収支差額(A) = (1)-(2)-(3)	0	0	0
前期繰越収支差額(B)	0	0	0
次期繰越収支差額(A)+(B)	0	0	0

議案(3) 2009年度(平成21年度)中部支部会計監査報告

2009年度中部支部会計報告について、多々良会計監査より適正に処理されている旨の報告がありました。

会計監査を行った結果、適法に処理されていたことを認めます。
平成22年3月27日
会計監査員 多々良秀世 

議案(4) 2010年度(平成22年度)中部支部事業計画案

- 5月11日 名古屋地方気象台会議室において、常任理事会が開催されました。
- 5月20日 支部だより第70号(本号)を発行いたします。
- 6月25日 第19期中部支部役員選挙を実施します。
- 7月23日 名古屋地方気象台会議室において、中部支部理事会と中部支部総会を開催いたします。日本気象学会2011年度秋季大会実行委員会を立ち上げます。
- 8月23日 第16回公開気象講座を開催いたします。

11月 支部だより第71号を発行いたします。中部支部総会の報告、第19期中部支部役員選挙の結果報告、公開気象講座の報告と支部研究会の開催案内、プログラム等を掲載する予定です。

11月 平成22年度支部研究会を開催いたします。

その他 サイエンスカフェを開催します。

議案(5) 2010年度(平成22年度)中部支部予算案

収支予算書

(2010年4月1日～2011年3月31日)

単位：円

	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	750,800	746,000	4,800	注1
公開講座補助金	100,000	100,000	0	注2
事業収入				
公開講座参加費 (テキスト代含む)	47,000	50,000	△3000	注3
雑収入				
預金利子	200	400	△200	
その他	0	0	0	
事業活動収入計(1)	898,000	896,400	67,600	
II 支出の部				
事業活動支出 (事業費支出)				
支部だより	32,000	110,000	△78,000	注4
支部だより印刷費	0	60,000	△60,000	
支部だより編集費	0	0	0	
支部だより発送費	32,000	50,000	△18,000	
ホームページ運営費	52,000	60,000	△8,000	注5
サーバー借料	52,000	60,000	△8,000	
公開講座開催費	128,600	100,000	28,600	注6
公開講座会場費	0	0	0	
公開講座運営費	58,600	0	58,600	
公開講座講師謝金・旅費	70,000	0	70,000	
支部研究会開催費	542,840	450,000	15,8840	
支部研究会会場費	30,000	0	30,000	
支部研究会運営費	102,840	50,000	52,840	注7
支部研究会講演予稿集印刷費	210,000	200,000	10,000	
支部研究会参加旅費	200,000	200,000	0	
その他事業費	0	0	0	

(管理費支出)				
総会・理事会費	53,600	43,000	10,600	
総会資料印刷費（往復はがき）	10,600	0	10,600	
理事会開催費	3,000	3,000	0	
理事会交通費	40,000	40,000	0	
役員選挙費	16,960	0	16,960	注 8
選挙公報・投票用紙印刷費	16,960	0	16,960	
選挙管理委員会費	0	0	0	
事務費	72,000	50,000	22,000	
通信運搬費	8,000	40,000	△32,000	
消耗品費	11,500	10,000	1,500	
労務費	0	0	0	
その他支出 設備費	52,500	0	52,500	注 9
事業活動支出計(2)	898,000	813,000	85,000	
Ⅲ 予備費	0	83,400	△83,400	
予備費支出計(3)	0	83,400	△83,400	
当期収支差額(A) = (1)-(2)-(3)	0	0		
前期繰越収支差額(B)	0	0		
次期繰越収支差額(A)+(B)	0	0		

注 1：本部からの支部活動費としての交付金

会員数割@1,200×334=400,800円と均等割350,000円の和で計上

注 2：本部からの夏期大学講座としての補助金

注 3：公開気象講座受講料（昨年における収入実績から減額）

注 4：プリンタ印刷に変更し減額

注 5：ホームページの運用実績から減額注

注 6：昨年度実績から増額するも印刷、製本を自前で行い圧縮

注 7：昨年度実績から増額するも人件費を圧縮

注 8：今年度役員改選が実施されるため計上

注 9：印刷・製本のため設備費（プリンター、用紙）を計上

支部強化基金 収支予算書

(2010年4月1日～2011年3月31日)

単位：円

	予算額	前年度予算額	増減
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	121,000	55,000	66,000
地区研究会等への支援	55,000	55,000	0

サイエンスカフェ	66,000	0	66,000
事業活動収入計(1)	121,000	55,000	66,000
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
地区研究会等への支援	55,000	55,000	0
交通費	40,000		
宿泊費	15,000		
サイエンスカフェ (2回開催)	66,000	0	66,000
1) 愛知県内	23,000	0	23,000
チラシ・資料印刷	3,000	0	3,000
講師謝金	10,000	0	10,000
講師交通費	10,000	0	10,000
2) 中部支部内	43,000	0	43,000
チラシ・資料印刷	3,000	0	3,000
講師謝金	10,000	0	10,000
講師交通費	30,000	0	30,000
事業活動支出計(2)	121,000	55,000	66,000
III 予備費支出			
予備費支出計 (3)	0	0	0
当期収支差額 (A) = (1)-(2)-(3)	0	0	0
前期繰越収支差額 (B)	0	0	0
次期繰越収支差額 (A)+(B)	0	0	0

◆ 中部支部第 18 期役員の補充

平成 22 年 (2010 年) 4 月 1 日付けの人事異動により、牧原康隆理事 (東海地区) と坂上公平理事 (東海地区) 及び阪本孝廣理事 (東海地区) がそれぞれの地区から転出し役員を失格しました。このため日本気象学会中部支部選挙細則第 4 条の規定に従い、東海地区理事の後任として高瀬邦夫会員、藤田由起夫会員、辻村豊会員を、第 18 期理事(任期はいずれも 2010 年 6 月 30 日まで)に委嘱しました。

	新	旧
東海地区理事	高瀬邦夫 (名古屋地方気象台)	牧原康隆 (名古屋地方気象台)
東海地区理事	藤田由紀夫 (名古屋地方気象台)	阪本孝廣 (津地方気象台)
東海地区理事	辻村 豊 (岐阜地方気象台)	坂上公平 (岐阜地方気象台)

また、伊藤晴夫幹事が 2010 年 4 月 1 日付けの人事異動により転出したため、高井元治会員が幹事として就任しました。

	新	旧
幹事	高井元治（名古屋地方気象台）	伊藤晴夫（名古屋地方気象台）

◆ 中部支部第 19 期役員選挙の告示

第 18 期役員任期が 2010 年 6 月 30 日で満了となりますので、中部支部規約及び中部支部役員選挙細則に基づいて、次期（第 19 期）役員選挙を以下の要領で実施します。

1. 選出する役員（注）

東海地区理事	6 名
北陸地区理事	1 名
長野・静岡地区理事	1 名
会計監査	1 名

2. 立候補の届出

(1) 候補者の資格

2010 年 5 月 11 日現在、気象学会中部支部通常会員とします。

(2) 届出の手続き

立候補する者は立候補届を、候補者を推薦する者は推薦届を選挙管理委員会に請求し、必要事項（氏名・生年月日・所属機関・役員種別など）を漏れなく記入の上、同委員会に届けてください（郵送可）。

(3) 届出の期間

2010 年 6 月 4 日（金）までに選挙管理委員会（下記）に必着とさせていただきます。

(4) 候補者の資格審査

立候補届出期間終了後、選挙管理委員会において速やかに資格審査を行います。

3. 投票

(1) 有権者資格

2010 年 5 月 11 日現在、気象学会中部支部通常会員とします。

(2) 候補者名簿及び投票用紙

候補者名簿と投票用紙は、立候補者資格審査終了後速やかに作成し、全有権者に郵送する予定です。候補者名簿と投票用紙が 2010 年 6 月 16 日（水）までに届かない有権者は、直ちに選挙管理委員会（下記）まで申し出てください。

(3) 投票期日

2010 年 6 月 23 日（水）までに投票用紙を選挙委員会までお送りください。必着とさせていただきます。

(4) 投票方法

無記名文書投票を行います。投票方法の詳細は投票用紙とともに郵送いたします。

4. 開票および結果の公示

(1) 開票期日

2010 年 6 月 25 日（金）10 時より名古屋地方気象台会議室で行います。有権者はこの開票に立ち会うことができます。

(2) 当選者及び次点者の順位の決定

細則第3条によるものとします。

(3) 開票結果の公示

開票結果は当日発表し、当選者に通知します。また、支部だより第71号に公示します。

2010年5月20日

日本気象学会中部支部選挙管理委員会

〒464-0039 名古屋市千種区日和町 2-18

名古屋地方気象台気付

(委員長) 上杉 和哉

(委員) 平野 貴嗣、吉村 香

◆ 第16回公開気象講座のお知らせ

公開気象講座は、夏期大学を含めて今年で16回目を迎えます。一般の方々の関心も高く、毎年多くの方の参加をいただいております。今年は「集中豪雨」というテーマで、近年の集中豪雨の実態、集中豪雨がどのようにしておこるのか、集中豪雨の予測技術、集中豪雨などの極端現象が今後どのように変化していくのか等を取り上げ、8月23日に開催する予定です。詳細が決まり次第、会員のみなさまへの開催案内の配布などを通じて、お知らせしていく予定です。

◆ 平成22年度支部研究会のお知らせ

最近の気象学会全国大会では、講演数の増加にともなって、発表時間を十分に取ることができなくなってきております。支部研究会では、各講演の発表時間をできるだけ長く取ることによって、会員のみなさまの間で深い議論を行うとともに、会員のみなさまの間での情報交換を行っていただいております。今年度は11月に富山市内で開催する予定です。具体的な日程や講演の募集などは、8月頃にお知らせしたいと考えております。

企画などの問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学地球水循環研究センター

藤波初木

電話：052-789-3474

FAX：052-789-3436

E-mail：hatsuki@hyarc.nagoya-u.ac.jp